

第22回「鉄道のある風景写真コンテスト」結果発表

9月3日(金)、第22回「鉄道のある風景写真コンテスト」の審査会を開催しました。今年には383名(1,070点)の応募があり、審査の結果、グランプリ(国土交通大臣賞)は川西 康之さん(東京都)の作品「2回目の春」が選ばれました。以下に掲載する全14点の入賞・入選作品は、当機構ウェブサイトに掲載するほか、下記の会場で展示いたしますので、ぜひご覧ください。

審査委員 ※敬称略

委員長 猪井 貴志 (写真家)
 委員 中村 直美 (㈱交通新聞社常務取締役第2 出版事業部長)
 委員 竹内 健蔵 (東京女子大学教授)
 委員 上原 淳 (国土交通省鉄道局長)
 委員 河内 隆 (鉄道・運輸機構理事)



グランプリ

国土交通大臣賞

『2回目の春』

川西 康之

(えちごトキめき鉄道 妙高はなうまライン 二本木駅～新井駅)

〈入賞・入選作品展示会〉

- 高知市役所 (とさでん交通) 令和3年 10月18日(月)～28日(木)
- 高松琴平電気鉄道 瓦町 FLAG 11月 3日(水)
- つくばエクスプレス 浅草駅 11月 8日(月)～16日(火)
- 神戸電鉄 谷上駅 11月19日(金)～25日(木)
- 京都市交通局 烏丸御池駅 12月 1日(水)～ 7日(火)
- 京阪電気鉄道 中之島駅 12月13日(月)～20日(月)
- 近畿日本鉄道 桑名駅 令和4年 1月 6日(木)～17日(月)



夏賞 鉄道・運輸機構理事長賞



『窓辺の風景』

遠藤 里美

(東海旅客鉄道 身延線 入山瀬駅～堅堀駅)



春賞 「鉄道の日」 実行委員会会長賞

『雨上がり』
宇佐美 公男
(四国旅客鉄道 予土線 西ヶ方駅～真土駅)



冬賞 国土交通省鉄道局長賞



『霧氷の朝』

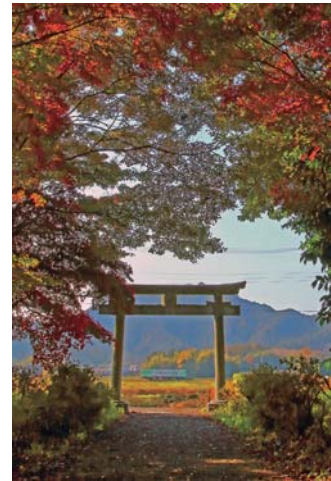
岡本 一晃

(しなの鉄道 北しなの線 黒姫駅～古間駅)



秋賞 「鉄道の日」 実行委員会会長賞

『紅葉がお出迎え』
明野 敏行
(北条鉄道 播磨下里駅～法華口駅)



ジュニア賞



『一夜限りの賑わい』

内藤 拓海

(東日本旅客鉄道 信越線 横川駅)



シティ・トレイン・ビュー賞

『2021年7月23日』
外岡 宏
(東日本旅客鉄道 京浜東北線 東京駅～神田駅)





『厳冬の汽笛』

服部 浩樹

(北海道旅客鉄道 根室本線
釧路駅～東釧路駅)



『早朝列車が目覚めのベル』

志田 幸夫

(東日本旅客鉄道 只見線 越後須原駅)



『無人駅のアート』

成田 清一

(弘南鉄道 黒石線 田舎館駅)



『只見の美しい春』

石井 道之

(東日本旅客鉄道 只見線 早戸駅～会津水沼駅)



『光環』

塩野 いくお

(東日本旅客鉄道 烏山線 小埴駅～滝駅)



『ダイヤモンド富士』

横井 規和

(京浜急行電鉄 本線 屏風ヶ浦駅～上大岡駅)



『里の休息』

荒木 貴啓

(西日本旅客鉄道 津山線 牧山駅～野々口駅)

審査委員長 総評

コロナ禍の中、第22回「鉄道のある風景写真コンテスト」に例年と変わらぬ応募が寄せられました。皆様の元気な姿を拝見させていただいたように、審査員一同喜びを隠せませんでした。まだまだ、自由に撮影に出かけることのできない我慢の日々が続きますが、ここはもうひと踏ん張りして、来る日のために準備をしておきましょう。

今もデジタルカメラはますます進化し続けています。朝・昼・晩と時間を選ばず撮影可能なのは当たり前になり、これまでの「鉄道のある風景写真コンテスト」にも多くの絶妙な時間帯の作品が応募され入選してきました。

撮影したい場所に思いを馳せ撮影計画を立てる時、もう一度基本である5W1H(いつ・どこで・だれと・なにを・なんの目的で・どのよう)に思い出してください。そして今や、撮影者には欠かせないいろいろなアプリを最大限に利用して、列車の通過時間に合わせ、自身の思い描くシチュエーションにジャストマッチさせましょう。決まった時のその喜びは皆さんが一番よく知っているはずですから。

一日も早くその日が訪れるのを祈っております。第22回「鉄道のある風景写真コンテスト」グランプリを射止めたのは川西康之さんの作品「2回目の春」。久しぶりのお出かけなのでしょうが、車窓いっぱい広がる雄大な風景を、まさにひとりじめしている可愛い女の子の姿には、気持ちが悪くなります。コロナ禍の長いトンネルを抜け出したような爽快な作品になりました。

審査委員長 猪井 貴志 (写真家)